

令和7年度 第5回用瀬地域振興未来会議 議事概要

【開催日時】

令和7年11月20日（木）午前10時00分～11時50分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、山下和彦、平井育子、寺崎健一、西尾とよ子、岸森孝弘、入江真知子、
西村 勝、石井 敏、松本豪平、田中聡
以上11名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、岡本副支所長、安田市民福祉課長
遠藤地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 会長・支所長あいさつ
- 3 議題・報告事項
 - (1)地域の重点課題検討
 - (2)効果的な情報発信について
 - (3)その他
- 4 各課事務連絡
- 5 次回日程
- 6 閉会

3 議題・報告事項等

（1）地域の重点課題検討

地域に根ざした特産品の開発と担い手育成・確保について、資料1により説明。

（田中委員）

新しく立ちあげた地域活性化の任意団体「Future Seeds Mochigase」の活動について報告。

○事業内容

ハーブ園を作り、用瀬と言えば「流しびな」と「ハーブ」だよねと言われるくらいの観光地化を目指す。果樹園跡地で、まずはラベンダーとレモングラスから始める。規模はだいたい1.5反（約1,500㎡）ぐらい。今後拡大を想定している。輝く中山間地域創出事業補助金の対象となった。

○現在の進捗

整地とゴミの撤去などを進めている。今後、トラクターで深く耕す予定。

○課題と戦略

ボランティアで手伝いに来てくださる方もあるが、ずっと無償という形では継続しにくい。すぐに収益化は難しいので段階を踏んでいき、地域と協働しながら事業を広げていきたい。

資金は、今週末に開催する黄金のイチョウ並木ハイクなど企画で頂戴した参加料等で確保していたらと思う。知名度アップのためにも年4回開催。ただし、団体自体の認知が広がってない状況での集客は難しい。

マーケティング戦略は費用面もかかるので無料のインスタグラムなど SNS で情報発信しているが、商品化に向けては地元の学生などと産学連携できたら。

ラベンダーの植付イベントを3月22日(日)に実施予定。

○障がい者就労支援について

NPO 法人の立ち上げ準備を進めている。障がい者の方にもこの植付イベントに参加してもらえたらと考えている。ほかにも、イベントに参加の形で応援いただける団体もある。

○特産品開発について

来年6月ぐらいに特産品開発の検討会、10月ぐらいに特産品の加工開始など、(あくまで予定ですが)計画をたてているところ。

—以上、説明—

(委員)

畑の整地にかかる作業車の燃料は、軽油税の減免の対象になるかも。

(委員)

ラベンダーを使った特産品の参考として、11月23日(日)に屋住の長谷川邸でクロモジ液抽出や染物イベントがある。

(田中委員)

ラベンダーオイルの抽出は時期が難しく、観光地としては花がきれいな時期に見に来てもらいたいが、咲ききるとオイルも揮発してしまうので、3部咲きぐらいのときに刈り取らないといけない。そうするときれいな花は見えない。

枯れた後に使える、バスソルトやドライフラワーなどに活用すれば、見てよし、枯れた後に刈りとってもよしの商品ができる。そういった検討会ができれば。

(委員)

シカの食害はないか。

(田中委員)

ハーブミントなど、香りの強いものは食べない。

用瀬が20年後、30年後に残っていくためには流しびなだけではなく、やはり何かもう一つないと駄目という思い。用瀬町民の方々が何か誇りを持てるに足るものを創っていきたい。それを進めていくための組織・チームづくりができれば。そのきっかけ作りとしてのハーブ園。

流しびなは、世代で思いが切れてしまっているように感じている。

(委員)

ふれあいまつりなど、人が多く集まる場で、こういうのをやっていくぞとアピールしてはどうか。流しびなの製作もこういった場で紹介していくなどしては。

(会長)

今後、この会議の内容についても、情報を積極的に発信し、広く動きを知ってもらえたら。

(委員)

過去、用瀬町運動公園の芝生植付けイベントの呼びかけをしたら、かなりのボランティアが集まった。今回のハーブも、例えば親子で植えに行こう、とか花が咲いたら見に行こうとか、町民を巻き込む呼びかけを行って行けたら良い。用瀬町には地域のために協力してくださる町民性があると思う。

(2) 効果的な情報発信について

(事務局)

○Instagramについて

用瀬町総合支所のInstagram(フォロワー380人)を参考に、写真・動画が主役のInstagramは、地域の魅力やイベントの活気を視覚的に伝えることができる情報発信ツールであると説明。

○#(ハッシュタグ)について

Instagram投稿文面の文の下に記載される#(シャープ)がハッシュタグです。
例えば「#もちがせ」と検索すれば、用瀬に関連する情報がぱっと出てくる。投稿を検索しやすくするためのラベルのような役割を持っており、いろいろな情報を希望の言葉で一つにまとめることができる。

資料2:用瀬町PRのための共通#(ハッシュタグ)について提案説明

(松本委員)

町内のお店など、情報発信にほとんどの方々 Instagram を使っている。
先週末にあった「さんぽ市」でも、出店する方々の8割以上がInstagramを運用されている。

1. 企画名『共通#で用瀬をPR』

2. 企画趣旨

様々な企画や地域資源があるが、それぞれが個別にPRされており、情報をまとめた形で閲覧できる状況にない。観光振興のためにも情報を統合し、効果的なPRにつなげる。
他地域では観光協会などの組織がとりまとめて情報発信を行っている場合が多いが、用瀬にはそのような組織がない。まずはできる範囲で情報を統合して発信できる方法を模索していきたい。

3. 企画内容

(1)「共通#」

そこで用瀬町において情報発信を行う個人、または団体の用いている SNS の投稿に共通の#ハッシュタグをつけていくことができれば、情報をまとめて閲覧できる状態に近づけることができる。



共通#ハッシュタグの検討・・松本委員、田中委員、深沢委員、堺地域おこし協力隊とで協議を行った。

言葉の候補はたくさんあったが、協議した結果、「#もちがせつくろう」に決定。
これを共通の#ハッシュタグとして、用瀬から発信していくものに投稿できたら。

最初は、どういう言葉で検索してもらうかを中心に考えていたが、いきなりなにもなしに、用瀬を全然知らない人に共通ワードで検索してもらうのは、現実的じゃないということで、自分たちの動きがあるということ、まず一つに集約して、投稿の数が増えていったら、上位に検索のワードとして出てくるようになる。

「#もちがせつくろう」のメッセージとしては、用瀬をみんなで「創ろう」という意気込みと、地域を「繕う」ことで活性化を目指すという意味を込めた。

共通#ハッシュタグ自体を告知する投稿を用瀬町総合支所公式インスタグラムで定期的に行っていく。町内の事業者へのチラシでの周知も併せて行う。

(2)「共通#」イベントの開催

共通#ハッシュタグイベントの開催と共通#ハッシュタグを冠した企画を実施し周知につなげるほか、期間内に用瀬町内で開催されるイベントをまとめてPRする機運をつくる。

町内で期間内に開催するイベントも別途募るほか、独自のイベントを企画することで、内容の新規性もアピールする。

以前「At! mochigase」の言葉を使って、流しびなを中心としたイベント広報を行った。1ヶ月間毎週末、何かしらのイベントを行いながら、流しびなの当日を迎えるイベントを組んだ。今回も似たような感じで考えている。

3月末にオープニングイベントを行う。続いて流しびなを含む4月から5月の各イベントがあって、5月末に2ヶ月にわたるイベントのクロージングイベントを行う(案)。この一連の流れを、共通#ハッシュタグの「#もちがせつくろう」ワードを主軸にして、イベントをひとつくりにする感じ。

用瀬町全体として何かやろうとしているんだという動きをPRするのが狙い。

その他、これ以外の様々な個人団体が企画するイベントもどんどん組み込んでいけたらと思っている。

その他スケジュール等は別紙資料のとおり。

—以上、説明—

(委員)

高齢の方は、インスタグラムを使っていない人も多い。スマホの講習会をして、使い方を教えていただくような企画も考えておいた方がいい。

それと併せて、やはり最初だけでも紙媒体を使っての情報発信もやって欲しい。

(委員)

個人で用瀬に来た方が写真投稿する時に、その#ハッシュタグをつけても良いのか。

(松本委員)

良いです。

(松本委員)

鹿野町さんが「#うれしかの」というキャンペーンをやっていた。

取組を今後長く続けると、記事がたくさん集まり、用瀬について調べ何かを調べようとしたときに、町の中でやっていることや、こういうお店があるんだと、用瀬の事を知りたい人に効果的につながっていくことになる。ただ、それには時間が必要。

(事務局)

SNS の使い方は、町内でスマホ講習会があるので、そこでインスタについても教わることができます。

(委員)

流しびなの館も、わらべ館のように企画や体験型のものをしていかないとお客さんが来ない。

(松本委員)

いなば用瀬宿横丁さんぽ市の様子を紹介

とても天候が良かった。事前告知について、パンフレットの配布と、用瀬エリアは新聞折り込み、あとはほとんどインスタグラムでの発信。

当日は、1,000人を超える来場者があり、飲食店はほとんどのお店が完売だった。

今回、初めて徳永酒店裏側の旧酒蔵の横をお借りして開催した。

じんじんさんや、来場したからした方からも雰囲気はすごく良かったという声をいただいている。

今回、新たな場所で開催できたことは、今後につながっていくと思う。

(3)その他

(委員)

梅ヶ瀬のグランドゴルフ場は、将来いつ頃使えるようになるのか

(事務局)

県の管理地となる。今は災害復旧工事の資材置き場として優先的に使っている。その後のことは、工事が終わってからとなります。今は即答できませんので、また回答させていただきます。

4. 各課事務連絡

- ・11月23日(祝・月)屋住 山のまなび舎で開催される鳥取リーダーアカデミーの案内。
- ・12月7日(日)町民会館で開催される「用瀬町人権尊重文化祭」の案内
- ・1月6日(火)10:00～用瀬町民会館 用瀬町・新年賀詞交換会(会費:1,000円)の案内

5. 次回日程と議題

【議題】

地域の重点課題「地域に根差した特産品の開発」「空き家の有効活用」の今後の方向性について

【時期】

2月上旬を予定